

将来人口

五霞町の人口は、全国的な動向と同様に、伸び悩み、横ばいの状況にあります。しかし、今後町内に首都圏中央連絡自動車道のインターチェンジが開設されるなど、交通がより便利になることから、新たな産業立地や人口の増加につながる要素も見込まれます。これらを的確に活かしながら、より暮らしやすい地域の形成を進め、人口を維持・拡大できる町を目指し、将来人口を以下のように想定します。

平成22年の人口：11,000人

将来像を実現するための基本目標

1. 緑豊かな美しい基盤づくり（基礎的条件の整備）

適切な土地利用の誘導や道路や下水道などの都市基盤の整備、交通手段の確保など生活の基礎的な基盤を整えます。

2. 安全で快適な環境づくり（生活環境の整備）

町の豊かな自然を保全し、公園などふれあいや憩いの場を整備するとともに、防犯や防災に努め、安心して暮らせる環境を整えます。

3. 健やかで安らぎのある暮らしづくり（福祉・保健・医療の充実）

福祉や保健、医療等が充実するとともに、一人ひとりが自らの健康維持や増進を図り、いつまでも住み慣れた家や地域で健やかに暮らせるように、地域と協力して体制を整えます。

4. 個性の輝く心豊かな人づくり（教育・文化の向上）

学校や幼児教育の推進を図るとともに、住民の一人ひとりが自分にあったスポーツや学習活動を行うことのできる機会の充実を図ります。また、行政、地域、企業、個人それぞれが協力して、青少年の健全な育成や、差別や偏見の無い社会の実現に努めます。

5. 活力ある地域産業の振興（産業の振興）

道の駅を活用した農業の新たな展開や、首都圏中央連絡自動車道などの交通環境を活かした工業の振興などをはじめとした産業の振興を図ります。

6. ふれあいと住民参加のまちづくり

効率的な行財政運営ができるように、行政機構の見直しや広域行政の推進を検討します。また、行政・住民や地域・企業が、それぞれ行うべき役割を明確にし、お互いに連携し、協力し合って、協働のまちづくりを目指します。